

PROFILE

1966年大阪府生まれ。中学まで大阪府で過ごし、母の実家がある八代に引っ越す。現在は夫と子ども2人と母の5人暮らし。

弱者に厳しい
社会環境・制度を変え
声を発しやすく、
くみ取る社会に



熊本共同法律事務所

熊本市中央区京町 1-12-2

京町会館2階

TEL : 096-355-5376

URL : <http://www.kumamotokyodo.jp>

2005年

2003年

1998年

1995年

1990年

弁護士登録
再婚。

司法試験に合格

書店で司法試験の本に出会い、家業の手伝いをしながら勉強を始める

第2子出産後、離婚し再び熊本に帰ってくる。

第1子出産の為に退職

九州大学法学部を卒業。生命保険会社に約6年務める

輝きの軌跡

阿部広美さんの
キャリアストーリー

—どんな事案を主に扱っていますか。

阿部 熊本共同法律事務所にて初めての女性弁護士として入所以降、DVやセクハラ、ストーカー、離婚など女性に関する問題を中心に、さまざまな事案を担当しています。主観的にも客観的にもなり過ぎない1.5人称くらいの立場でお話することや、相談者に親しみを感じてもらうように心がけています。

—女性弁護士だからこそ良かったと思うことはありますか。

阿部 特に女性の人生に立ち会う時、例えば離婚問題のように家庭に関係する事案やパワハラやセクハラの場合、生活者として女性として相談者の考え方に寄り添うことができると感じています。私自身、企業に勤めた経験があります。当時、男女の扱いの差に憤りや不満を持っていたし、結婚・出産も経験しました。31歳で離婚し、その後司法試験の勉強を始めたのですが、そういった経験が生かされることも多いです。

—仕事を通じて感じている社会の課題はなんでしょうか？

阿部 苦しんでいる人と向き合う機会が多く、「弱者に厳しい」社会環境・制度を変える必要があると感じます。我慢することが当たり前になってい

る人や、我慢していることに気付いていない人がいます。押し付けられることに従わざるを得ない社会ではなく、声を発しやすく、くみ取ってもらえる社会をつくらなければいけないと思います。

—これから社会へ出ていく女子学生にアドバイスをお願いします。

阿部 困っているときにSOSを発信できるようになってください。一人では解決できないことは意外に多いのです。しかし、誰かに頼ることで解決の糸口が見つかることがあります。苦しいときに誰かに頼るということは大変なことですが、「どんなときに、誰に頼ればいいのか」ということを知っておくことは大切です。誰かに頼ることも「勇気」です。しっかりと周囲を見ながら社会とつながりをもって生きてください。

一人で何でも抱え込むのではなく、誰かに頼ることも大事。「助けて」と言える勇気を持ってください！

